

はの消費者便利



2013年8月15日 発行
事務局 090-5324-6412 川野

消費者って たいへん その2

飯能市消団連・代表

川野安紀子

消費者が作る

Ⅱ安全で基本的な生活ニーズが 保障される社会Ⅱ

消費者とは消費生活をしている人のこと、完全な自給自足生活をしている人でも消費社会から発生する環境への影響などは受けるので、企業のトップも株主もそして働く人も、生活の場面ですべての人は消費者です。

私達の暮らしは世界中の人たちの暮らしと直結していて、「広告につられて」「1円でも安く」といった私達の買い物の仕方(消費行動)は世界に影響を及ぼします。劣悪な労働で生産された商品を買うことは、世界の労働条件を悪化させることにつながり、健康や環境にあまり良くない物を買うことは、世界中の健康や環境を悪化させます。「何を買うか」は、「どんな社会を作るのか」でもあるのです。

消費者の特性

「供給者との間の経済力や商品についての知識の格差」
「生命・身体・精神の傷つきやすさ、比較的少ない損失でも生活そのものに影響しやすい経済的弱さ」
「企業と違って損失を他者に転嫁できない負担転嫁能力の欠如」

2004年に施行された消費者基本法には、消費者の特性を充分配慮したうえで、8つの権利を尊重し自立を支援するために「行政は、経済社会の発展に即応して、消費者施策を推進すること」「事業者は、供給する商品や役務について、消費者の安全と取引の公正の確保、消費者への情報提供、消費者の知識・経験・財産の状況への配慮、適切な苦情処理、行政の消費者政策への協力、自主行動基準の作成をすること」「消費者団体は、消費者被害の防止と救済のために活動すること」と書かれています。



消費者の8つの権利

- 「安全である権利」
- 「知らされる権利」
- 「選択できる権利」
- 「意見を反映させる権利」
- 「救済を求める権利」
- 「消費者教育を受ける権利」
- 「生活の基本的ニーズが保障される権利」
- 「健康な環境を求める権利」



2012年12月施行された消費者教育推進法には、「国や地方公共団体はあらゆる場面で消費者教育を推進しなければならない」とあり、消費者は「自ら進んで消費生活に関する必要な知識を修得するとともに、情報収集など自主的かつ合理的に行動するように努め」「環境の保全・知的財産権などの保護に配慮するよう努め」「公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画すること」としています。

供給者との間の商品についての知識の格差を埋めるほどの知識なんて、「ただ教育されればいいの!」「無理ムリ!」ってなりますよね。だからこそ消費者基本法で「行政は消費者施策を推進しなければならない!」し、「事業者は協力すること」を求められているのです。

ほんとに だいじょうぶ？

TPP



山浦康明さんのお話から

NPO 法人日本消費者連盟共同代表・
明治大学法学部兼任講師

文責：M・A（飯能市在住）

2013 年 6 月 16 日（日）13:30～16:30
飯能市美杉台地区行政センター視聴覚室
主催：飯能市消費者団体連絡会

山浦さんのお話の要約をお伝えします。

TPP（環太平洋戦略的連携協定）とは、米国が貿易の拡大を目指して、アジア進出しようとする、自由貿易協定（FTA）の一種です。

●TPPの問題点は、

日本政府が労働・安全性・サービス・医薬品など21分野について情報公開していない事です。

実際には輸出国内で自国の製品が売れやすくなるようにする為に、関税以外の条件も、例えば米国は韓米FTAによって、環境に配慮した製品を保護したり、地産地消を勧めたり、遺伝子組み換え表示を義務付けたりする政策を、韓国で撤廃させています。短期的利益は認めません。原材料が55%（価格ベース）未満なら非締約国の産品もOKと

なれば、どの国の食品かわからなくなります。48時間以内に通関させ、コンピューター上でのチェックのみのペーパーレス貿易になるとチェックが甘くなります。世界で使われている添加物はOKとなると食品添加物の承認がスピードアップします。

●検疫に関しては、輸出

国での検疫のみ。米国の研究者ばかりのOIE（国際獣疫事務局）を基準にするため、米国に都合のよい検疫方法になります。牛の全頭検査は2013年6月で終わり、米国産牛肉の輸入条件が20ヶ月から30ヶ月に緩和されました。ヤコブ病は20代、30代の人がかかる痴ほう症で、神経を侵され寝たきりになり、半年で死に至る病気なのに、牛丼屋の利用者は若者が多いのです。

製造年月日・原料原産地表示・費用がかかって認可が取りにくい有機農産物基準・遺伝子組み換え表示は義務化のルール無しになりそうです。TPPにより、農産物の輸入が多くなるので日本の食料自給率は40%から14%と大幅に落ち込みます。ニュージーランドからの農作物と同じ生産物の、北海道の酪農、農業への悪影響は5000億円、それに伴う加工業、流通、金融も成り立たなくなる為の損失が2兆円余り。日本全体での経済的損失は4兆円、との予想です。

●食の安全性に関しても、

日本では数百～800の添加物に対し、米国では約3000認められており、世界中の添加物を認めるように要求しています。現に、抗生物質が添加物と認められた漬物メーカーは、防カビ剤を添加物として申請しています。防カビ剤の農薬「フルジオキシソニル」の米国の基準は、日本の10倍の緩さ。ポストハーベットの農薬として使いたい為、基準を緩めるよう日本に要求しています。米国から輸

入したフライドポテトに大腸菌が検出されたので、日本が差し戻した事を受け、米国は「熱を加えたら菌は死ぬのだから」と日本の基準を認めないのです。



●医療分野に関しては、

米国の医療業界に有利になるよう医師の手術法に権利を持たせる、薬の特許期間の延長、ジェネリック医薬品を抑制し、ジェネリック医薬品にはもう一度、実験の義務を課す事によって医療費、薬代の負担増。国民皆保険の廃止、混合医療を要求、米保険の参入により、難病などの先端医療は保険外、安価な治療は保険対象とする、経済特区を作って自由診療できるようにする。韓国が日本の皆保険を見習った施策を打ち出したが、韓米FTAで反対され、断念。米国ではオバマ大統領が国民皆保険の政策を反対され、実

施できなかったのは、国民が保険料の支払いが大変な為。盲腸でも歯の治療にも病院に行けない。風邪の治療も米では売薬で済ましているのが現状だそうです。日本医師会・薬剤師会は反対しています。

●ビジネスの面でも、越

境サービス貿易になると、金融・保険・弁償も米国の免許がそのまま日本でも通用し、ビジネスマンが日本に自由に入国、業務ができますし、合併会社を作り無条件に投資できる、という事は外国資本に牛耳られる可能性もあるので

●ISD条項に関して

は、韓米FTAの事例では、米国の投資会社が韓国に投資したが儲からなかった。撤退しようとしたが韓国が引きとめて被害拡大した為、米国が訴訟、勝訴。カナダ米FTAの事例では、カナダで米国の水ビジネスするのに抑制をかけたら、米国が訴訟、勝訴。

日本も投資する企業が多いのでISD条項を重視しています。賠償させられる国は大変です。ISD条項の訴訟機関は、基準は投資した企業の利益第一。環境は度外視。控訴は認めない。強い国、投資企業が有利。

●労働に関しても、外国

の労働者が自由に働けるようになると、企業は安い賃金で彼らを雇います。他国の労働者賃金体系は異なるので、日本の労働賃金が下がると予想しています。外国では反対運動が起きています。

●TPPで儲かるのは、

一部の企業のみで、車に関しては現地生産が進んでおり、米国は儲からないので、米国の労組はTPPに反対しています。米国民の中にも遺伝子組み換え反対運動し、表示義務化する州が1、2州出てきました。

WHOでも例外を認めるべきだし、農業の多様性、各

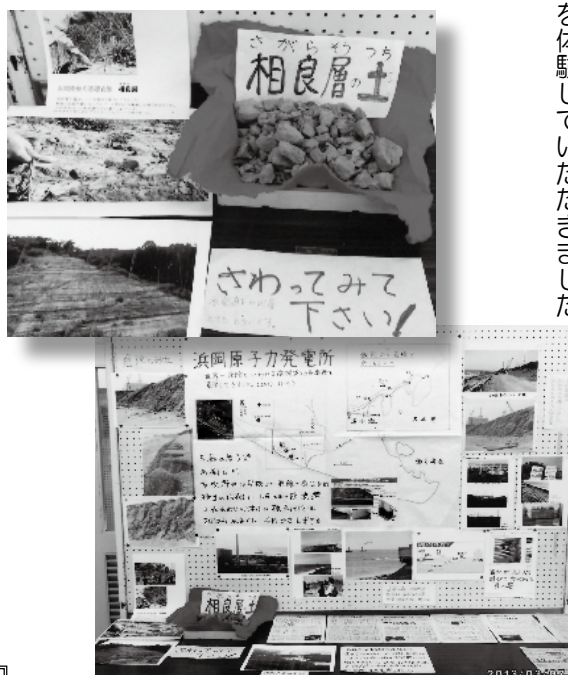
国の農業、環境規制を重視しています。

貿易は国レベルでなくて良いのです。生協がフィリピンに融資したように、TPPによるグローバル化に対抗するには、地域社会に根差した協同組合・市民団体的な活動であり、国内の産業・地域社会の発展、生産者流通と消費者の連携が有効なのです。それには地域社会に自治体が入って住民の意見をまとめる事が必要かと思われます。



今、日本で起きている社会問題を解決するのは「地域のつながり」だといわれています。TPPのような国家間の問題でさえ、私達の気持ちしだいと知り、自分にもできることがあることに希望が持てました。

「中央公民館まつり」で浜岡原発現地見学会の展示をしました



消団連は、昨年11月4日に行った浜岡原発現地見学会の報告を、中央公民館祭り（3月7日～11日）で展示しました。思ったより多くの方に見ていただきました。波打ち際の砂丘の上に建てられた浜岡原発は、2km以内に市役所も小学校もあり市街地に隣接しています。福島原発の事故以降18メートルの防潮堤が作られています。が・・・地盤を形成している砂と泥が堆積した「相良層（さがらそう）」の土を削り取ってきました。運んでくる間にだいたい崩れていましたが、展示会場でもそのもろさを体験していただきました。

浜岡原発は
飯能から直線で
150km



いま知りたい!

報告 講演会13年3月18日
講師 天笠啓祐

食へ物、環境のこと、農業、食品添加物、 遺伝子組み換え食品そしてTPP

川越で小さいお子さんを持つ
つ若いお母さん方が中心にな
り、学習会を催しておられ
ます(こどものみらいを守る
会)。そこで企画された天笠
啓祐さん(市民バイオテクノロ
ジー情報室)の講演会に参加。
盛りだくさんのお話の中か
ら、印象に残っているお話を
お伝えします。

▼食のグローバル化と安値合
戦で何が起きているか。ミ
トホープ事件、中国産ギョ
ザ事件はなぜ起きたか?2つ
の共通点は冷凍食品であるこ
と、大手メーカーに卸してい
たこと。安さが追求される中
で最終的に犯罪にまで手を出
してしまう。

▼鹿児島全魚連の漁師の年収
は平均200万円、そのう
ち魚での収入は90万円、残り

は年金や離島手当である
こと。私たちの食を支える1
次産業、2次産業の人たちが
その仕事で食べていけない
ということは何を意味するの
でしょうか。

▼「コンビニ弁当16万キロの
旅」には驚きます。コンビニ
弁当は世界中から安い材料を
集めてできている。一つ一つ
の食材の原産地から食卓に上
がるまでの距離(フードマイ
レージ)の合計が16万キロ!
たった一個の弁当が地球4周
分の距離。こんな不自然なこ
とが経済(利益)第一主義の
元で行なわれているのです。

世界中で安く買い叩かれる作
物、食品、労働力。家畜の密
飼いや不自然なエサ、投薬な
どから動物の感染症(口蹄疫、
BSE、鳥インフルエンザ、
新型インフルエンザ)の発生

は21世紀に入りグローバル化
と同時に頻発しています。

▼「遺伝子組み換え食品」を
「日本人が最も多く食べてい
る」と言う講師のお話には
ビックリ。豆腐、納豆、味噌
等(33品目)には表示義務が
ありますが、醤油、油などは
表示不要なので、それらを使
用したほとんどの食品に「遺
伝子組み換え」の表示はあり
ません。だから私たちは知ら
ない間に食べてしまっ
ているのです。



▼日本は世界最大の穀
物輸入国で、トウモ
ロコシを米国から約
96.5%、大豆を米国か
ら約71.4%、ナタネ
をカナダから91.5%
輸入。(10年の輸入割合)

その米国、カナダでの遺伝
子組み換えの作付け割合はト
ウモロコシ(米国)88%、大
豆(米国)93%、ナタネ(カ
ナダ)97.5%(12年の作付
け割合)なので私たちの食卓
に出回る割合は80%~90%近

くになります。

▼TPPに加入すると、あら
ゆる規制が緩和され、消費者
が少しずつ獲得してきた食の
安全性が失われることになり
ます。食品添加物の追加承認、
牛肉輸入の条件緩和(すでに
約束)、食品表示の緩和、残
留農薬規制(米国の5倍厳し
い日本の規制値)の緩和等々。
すべて米国の基準に下げられ
ていくのがTPPです。

▼そのほか、重要な汚染化
学物質として、農薬、ダイ
オキシン・環境ホルモン、
合成洗剤の害があります。
そしてこのような汚染物
質に放射能汚染が加わりま
す。

▼では私たちはどんな生き
方、暮らし方をしたらいいの
でしょう。

- 合成洗剤はやめて石鹸を使
う
- お米を食べて水田を守る
- 清潔病と抗菌グッズ↓抵抗
力低下

- ゴミを減らし、ダイオキシ
ンを減らそう
- 食器・容器を自然のものに
- 携帯電話と電池多消費社会
↓脳への影響とカドミウム汚
染

- マイカーよりもバスや電
車、もっといいのが自転車や
歩き
- これからのエネルギーは集
中から分散へ、地産地消。



▼知ることは行動の指針とな
ります。一緒にまなび、消費
生活のなかで自分にできるこ
とを実践していきましょう。

※遺伝子組み換え作物の危険
性、将来に亘つての害につい
ては、飯能在住の小林大木企
画で自主上映されている映画
「暴走する生命」「パーシー
シュマイザー」「サイエンティ
スト」をぜひご覧ください。

平賀

出かけてみました



日の出町処分場と エコセメント工場の見学



《東京都日の出町には、ゴミの最終処分場が2つあり、三多摩地区約400万人の出したゴミの焼却灰と不燃ゴミが埋め立てられている。14年間の埋め立てによって1998年に満杯になった谷戸沢処分場と、98年から埋め立て現在に至る二ツ塚処分場。二ツ塚の敷地内には焼却灰からセメントを作るエコセメント工場が建ち、06年から稼働している。場所は青梅市との境の山間水源地。》

2012年12月11日(火)

天気快晴 参加者11人、車3台で青梅市馬引沢へ向かい、そこからは徒歩でゆくり登りました。

案内をして下さったのは、市民による環境調査団体の「たまあじさいの会」から来られたお二人でした。10時ごろ、車は入れない山道です。すこし登ると「キヨスミイト

ゴケ」が樹木にからみつき、垂れ下がっている様子があちらこちらの本々にみられました。これは、木の免疫力が低下していることを意味しているようです(谷筋に多く、冷気を含んだ水蒸気があるところに発生)。しばらく登るとわさび田跡も…。

日陰道の山登りで上空は晴れて青空なのに寒かったですね。この山は杉、ひのき、さわら、モミが多くみられました。

さらに登ると、石灰岩が露出しているのがわかります。処分場の半分の地層は水の浸食に弱い石灰岩だそうです。名栗断層が沢筋に走っている様子もみられました。

「たまあじさいの会」が独自に調査し続けている雨水採取地点にきました。分析は他県の大学に依頼しているとの

こと。

馬引沢峠に11時15分ごろ到着(行き止まり)。金網フェンスに囲われた二ツ塚処分場とセメント工場が下方遠くに眺められました。セメント工場では毎日300トンのゴミ焼却灰を主原料にして430トンのセメントが作られるという。「究極の循環型処分場である、しかも100年耐用する」などと「全国モデル事業」として国は推進したいようだと伺いました。

しかし、排気には鉛、水銀、ダイオキシン、カドミウムなどが含まれ、下水にもその影響は当然あらわれるでしょう。また、「エコセメント」といわれるこのような焼却灰からできたセメントは、塩分が多くて、道路やU字溝にしか使えないようです。もちろん、鉄筋を錆びさせてしまい建築には使えません。

馬引沢を下り、車で移動しました。すでに満杯となった谷戸沢処分場も見学。ここには、鉛

カドミウム、水銀、ダイオキシンを含む大量の焼却灰と不燃物が埋め立てられています。閉鎖から15年経った今も地下排熱は60度ぐらいあり、排気管から蒸気があがっているようです。

きょうの見学の最後には、「たまあじさいの会」が中心になって市民放射能監視センターを設立したばかりの「ちくりん舎」を訪れ、遅い昼食とお話の続きを伺いました。

化学物質で汚染された大気の影響でボロボロになったケヤキの葉っぱの実物や写真も見せていただきました。そのリース状になった黒い枯葉はまるで虫食いのようでした。



汚染された大気の影響でボロボロになった葉っぱ

谷戸沢処分場近くのある集落では、ガン死で亡くなられた方が多かったという衝撃的な事実もあり、大気中の粒子状物質に混じっている有害な成分は自然や人の健康を蝕んでいく現実をわたしたちは学びました。

ごみを燃やすことの弊害は、大気や川を汚し、感受性のたかい子どもたちへの健康にも強く影響してしまいました。さらに3・11の原発事故後は放射能のことも日常的に忘れることなく生活していかなければならないでしょう。

1kgあたり8000ベクレル以下であれば放射性物質を含んだごみ焼却灰もセメントになります。私たち飯能市も同様なごみ処理システムにいます。焼却灰をセメントにすることは決してエコではないことです。ごみをつくらない、出さない生活を今後も追求していきたいものです。

小園小夜子

ネオニコチノイド農薬の恐怖 A・H(飯能)

1月26日(土) 消団連主催で市民活動センターにて3本の映画の上映会をおこないました。そのうちのひとつが「ミツバチからのメッセージ」。この映画は、自然生態系の破壊に猛威を振るい始めた新しい農薬「ネオニコチノイド系農薬」の散布後、ミツバチの大量失踪が起きた現場からの緊急報告です。上映後には、映画製作に関わられた御園孝さんからも、お話をうかがいました。

世界

世界の各地でミツバチが大量に消えたというニュースはお聞きになったことがあると思います。1990年代初めからヨーロッパでミツバチが大量死。『国連食糧農業機構』の調査では、北米で約50%、ヨーロッパで約25%のハチが減少、07年春までに北半球のハチの4分の1以上が消えたそうです。08年には、ドイツでネオニコチノイド系農薬のクロチアニジン(日本では商品名『ダントツ』と同成分)で種子消毒したとたん5億匹のミツバチが死んでしまい、その後も被害はロシア、中国、台湾、日本、オーストラリア、中南米と世界中に広がっています。

日本での被害は『NPO法人ダイオキシン・環境

境ホルモン対策国民会議』理事の水野玲子さんによると、『日本養蜂はちみつ協会』は、08年と09年の2年間だけでも最低2億匹が農薬により死んだと報告していて、北海道では無人ヘリで高濃度ネオニコチノイド系農薬が撒かれ08年だけで4500群、岩手県では05年に約700群、長崎県では09年に約1900群等々、ミツバチの大量死は全国に広がっているそうです。そしてその原因はカメムシ防除のための『ダントツ』散布であると仰っています。

映画

画の中で、長崎在住養蜂家久志富士男さんは「長崎県では、08年あたりから安価で労力のかからないネオニコチノイド系農薬を推奨、農協がダントツの使用を奨励し、いたるところで大

農

薬の変遷は50〜60年代は有機塩素系、70年代



量に散布。その結果、ミツバチはもとより、虫そのものがほとんどいなくなり、車で走っても、フロントガラスに一匹の虫もつきません。夜道の自動販売機の灯りにもです。それに対し、ダントツを撒いたことがない壱岐の自動販売機には昆虫が集まり、ガラス窓にもついていました。的山大島では、松くい虫駆除のための空中散布2日後、海岸には大量のフナムシの死骸が…。昆虫もツバメもいなくなり、付近の牛は流産するようになりました。」と話されていました。

※1 船瀬俊介著『悪魔の新・農薬「ネオニコチノイド」ミツバチの消えた沈黙の夏』より…通常の農薬はせいぜい100m

※2 ネオニコチノイド系農薬中止を求めるネットワーク http://no-neonic.jp/kao_kei/yo

続編の「赤とんぼがない秋」を8月18日に上映します(最終ページ参照)

ているところも多いとのこと
です。また、日本は狭い国土
に大量の農薬を使い、単位面
積当たりの農薬使用量は 30
〜40 年間ずっと世界一だった
という事実にも驚きました^{※3}
(最近韓国が 1 位になった)
こうして大量に使われてい
るネオニコチノイド系農薬
は、ミツバチや昆虫だけでな
く人にも被害が及んでいると
いう報告があります。群馬の
青山美子医師は、ネオニコチ
ノイド系農薬散布直後に心臓
の異常や手の振るえなどを訴
える患者が増えることを指摘
していらつしやいます^{※4}

仏 政府は 03 年ミツバチを
殺すだけでなく、人間
にもリスクがあると結論し、
翌年フィプロニル製品の販売
を禁止しました。またアメリ
カの科学アカデミーは「科学
的証拠により子どもの神経、
行動の病気の約 3 分の 1 は、
農薬その他の科学的物質が直
接的影響、あるいは遺伝子と

※3 水野玲子著『新農薬ネオ
ニコチノイドが日本を脅かす―も
うひとつの安全神話』より
※4 同

の相互作用によると推定して
いる」と報告されていて、農薬
との関連が疑われている病氣
としては、ぜんそく、学習障
害、自閉症、発達障害、先天
奇形生殖機能の異常、糖尿病、
パーキンソン病、アルツハイ
マー病、さまざまなガンなど
があるそうです^{※5}



食

用植物の約 70% 以上が
ミツバチの恩恵を受け
ていて、万一ミツバチがい
なくなれば、蜂蜜はもちろ
ん、農業は壊滅的な被害を受
けることになるそうです。ま
た、ミツバチは環境の悪化を
知らせる指標生物であり、現

※5 J E P A 発行『新農薬ネ
オニコチノイドが脅かす ミツバ
チ・生態系・人間』より

在ミツバチに起こっている異
変は、生態系そのものの重大
な異変を警鐘しているのだと
か。

私

がこの小さな山里で暮
らし始めた 30 数年前に
比べ、ほんとうに虫や鳥やカ
エルや蛇などが激減しまし
た。確実に生態系がおかしく
なってきたと感じます。
長女家族が千葉の農村地帯に
住んでいた 3 年前「今日はヘ
リコプターでの農薬散布があ
るのよね、嫌だなあ・・・」と
話していたのを思い出し、忸
怩たる思いです。

本年度 4 月、E U は遂
に、今年度末までにネオニ
コチノイド系農薬の使用を
禁止すると決定しました。
しかし我が国は未だ動き出
そうとはしていません・・・
多くの人にこの恐ろしい現
実を知ってもらい、日本政府
に早急な対策をとるように世
論が盛り上がってほしいと思
います。



【脚注以外のネオニコチノイド：資料】
・「虫がいらない 鳥がいらない」
久志富士男・水野玲子、高文研

KAFIN (カフィン：在日フィリピン人互助グループ) と共に—3月8日



「国際女性の日」をお祝いしました。

飯能市民会館で開催 (消団連共催)

飯能には現在 100 人を超えるフィリピン人が暮らしていま
す。在日フィリピン人の生活支援を行っている KAFIN (カ
フィン) の呼びかけで、3 月 8 日の「国際女性の日」* を祝う
催しが 3 月 9 日に開催され、飯能消団連も共催しました。テー
マは「DV と放射能から母と子を守る」。

午前中は、安田節子さん (食政策センター・ビジョン 21) の
講演「わが子からはじまる 食へものと放射能のはなし」。低
線量の内部被曝の危険性や、日常の食生活で放射能を減らす方
法などを、英語のサポート付きで。言葉の壁もあって在日外国
人の方たちには十分な情報が届いていないのです。

フィリピン料理での交流会の後は、「カタラウガン! ロラた
ちに正義を」の上映。日本軍の侵攻で激しい性暴力を受け、現
在 80 才を過ぎたロラ (おばあさん) たちの姿を追ったドキュメ
ンタリーです。ロラたちの子や孫の世代が私達のすぐ身近に住
んでいる、歴史に学ばないことは本当に罪深いことだと思いま
した。

上映の後は、映画の音楽を担当したアリソン・オバオンさん
のライブや、KAFIN 代表、長瀬アガリンさん (飯能在住)
の民族衣装の踊りもあって、重い課題と暖かい交流、新鮮な感
動のあった一日でした。(8 月 17 日には、長瀬アガリンさんのお話
が聞けます。↓次ページ (P8)



*「国際女性の日」3 月 8 日。
女性差別の撤廃と平和のため
の催しが世界中で開かれる

毎年、恒例の

夏の連続映画上映会

主催：消団連

《時》 8月18日(日) 13時〜17時
《所》 まるひろ7階 市民活動センターホール

未来への決断 ノーモア原発

13時

- ① 原発に奪われたいのちと暮らしを返せ、故郷を返せ (17分)
- ② 作られた安全神話と原発はなぜ日本に導入されたか (19分)
- ③ エネルギーの未来を創る挑戦と原発がなくても困らない (17分)

制作：日本電波ニュース社

ネコマチツタ物語 セブツさんの手紙

14時

(20分)

「猫だつて考える エネルギーのこと」

心温まるストップモーションアニメの短編映画。「本当の豊かさとは？」勇気と英知で新しい扉を開いた猫たちのお話です。

制作：ネコマチツタ物語制作委員会

赤とんぼがいけない秋

「ここではかつての風景が見られない」

14時30分 (61分)

「ミツバチからのメッセージ」に続くドキュメンタリー。手軽で便利な新しい農薬ネオニコチノイドによって、いま大変なことがおきています。虫がいけない、鳥がいけない、子どもたちの笑い声が聞こえない

制作：「赤とんぼがいけない秋」制作委員会

アフガニスタン干ばつの大地に用水路を拓く

「治水技術 7年の記録」

15時35分 (73分)

「百の診療所より一本の用水路を」戦乱と干ばつのアフガニスタンで、無謀とも思える土木工事に挑んだ一人の日本人医師・中村哲。2003年から7年の歳月をかけて全長25Km余の用水路を完工、3000ヘクタールの農地が甦った。戦乱の地に真の平和をもたらすものは何か、静かに問いかける。

制作：日本電波ニュース社

■参加費500円 ▼保育 300円

■連絡先：川野 090・5324・6412



消団連 会員募集中

催し物ご案内

6頁参照

7頁参照

伊藤千尋さん講演 世界は元気だ

9月22日(日)

13時30分・午後4時

基地が消え、原発も消えているのが、今の世界の明らかな流れだ。日本を見て絶望する人でも、世界をきちんと見れば自信がわいてくる。今こそ奮い立つ時だ。不戦の心の背後には、無念に散った人類の魂がある。世界の共感がある。時代の流れを受け継ぐのは、歴史を正しく担う者である。■伊藤千尋(いとう・ちひろ)さん 朝日新聞社記者 現在be編集担当記者 特派員として中南米や東欧革命など激動の現場取材し、人々の声を伝えてきた。

■市民活動センターホール (JR東飯能駅 丸広7階)

■参加費500円

▼保育1人 300円(保育は定員あり 申込×切り9月15日)

■主催 9条の会・飯能

■お問い合わせ 杉田 090・3228・5989

映画上映とお話の会

海外から日本を見る① 市民活動センターホール

8月17日 13:30-16:00

フィリピン人のミンダナオ島では約100万人の難民が発生している。その原因は油田開発や鉱山開発のために、先住民が軍隊によって強制排除されていることにあります。その開発に投資しているのは、日系を含む多国籍企業などです。2001年9月から10月にかけて、フィリピンのミンダナオ島南部西部を中心に取材したドキュメンタリー作品の上映と、ミンダナオと日本の関係を学びます。

映画

「第二の侵略」-開発・投資・派兵・フィリピン

(監督：高岩仁 2002年 80分)

お話

長瀬 アガリンさん「日本のODA」

ミンダナオ島生まれ。マルコス政権下ミンダナオ紛争で避難民となり、15歳からボランティア活動を始める。日本人と結婚し96年来日、在日フィリピン人の互助グループKAFINセンターを立ち上げ、カウセンリングやDV被害を受けた女性の救済などを行っている。飯能在住。

■参加費 500円 ▼保育 300円

■連絡先：憲法学習会 090・5324・6412 川野

【編集後記】●暑い夏、時たま動く壊れたクーラーの下でやっと仕上げた。会報をより進化させたい思いと、レイアウトソフトの習得もかねていたから、時間がかかった。●わずか8ページの冊子、でも描かれている内容は多彩だ。放射能、農業、遺伝子組み換え、ごみの最終処理、そしてTPP。これが、今を生きる「消費者」が抱えている現実。●生産者(大企業)は、「モノを買う人」という自分に都合のいい像を作り出す。いつの間にかその中に取り込まれている自身に気づく。●消費とは、生きものの身体・活動を作り出すこと。肝に銘じたい。(小林)